郷土資料通信
KASUMI
福山市中央図書館

2026年11月発行
No.44
福山市霞町一丁目10－1
（まなびの館ローズコム）
TEL（084）932-7222

スポーツで地域をもりあげよう！

人口減少や少子高齢化、経済活動の低迷など、地域にはさまざまな課題がありますが、スポーツイベントはそれら課題の打開策の一つといえるのではないでしょうか。

この展示では、スポーツを地域振興、地域活性化、まちづくり推進に活用するためのヒントとなる図書を展示・貸出しするとともに、福山市を拠点に備後圏域で活動するサッカークラブ「福山シティFC」を紹介します。

⚽展示のご案内⚽

期間 ： 2026年10月14日（水）～
2027年1月19日（火）

場所 ： 中央図書館 2階 展示スペース

内容 ： スポーツと地域に関する資料等を展示



関連図書

📖『スポーツチームの経営・収入獲得マニュアル』
木村 正明／著 同文舘出版［780 キ］

📖『スポーツで地域を動かす』
木田 悟／編 東京大学出版会［780.1 ス］

📖『スポーツまちづくりの教科書』
松橋 崇史、高岡 敦史／編著 青弓社［780.2 ス］

📖『下町ボブスレー復活のゴール』完結編
細貝 淳一、奥田 耕士／編著 青弓社［780.6 ホ］

📖『逆境をはねかえす広島型スポーツマネジメント学』
藤本 倫史／著 晃洋書房［K780 フ］

📖『スポーツクラブ経営3.0』
岡本 佳大／著 総合法令出版［K783 オ］

今までにあった質問と回答を一部紹介します

質問　鞆の浦が昔は七つの島だったことがわかる資料が見たい。

回答　今は観光地として有名な鞆の浦ですが、その歴史は古く、古代までさかのぼります。

その昔、鞆の浦の地形は今の姿とは異なり、野島・中洲・中島・大可島・淀姫島・玉津島・津軽島と呼ばれる七つの島がありました。七島は遠浅の海で囲まれており、昔はこの島々へ行くには、橋を渡らなければなりませんでした。現在では堆積物と埋め立てにより、海岸線は陸続きとなり、中島と玉津島だけが残っています。その中でも玉津島は、かつて「ふく島」と呼ばれ、鞆港の自然堤防の役割を果たす小島でした。その後、領主となった福島正則により「玉津島」と改名されました。今では、ネズミのような形状から「ねずみ島」と呼ばれることもあり、島の山頂には玉津島明神が祀られています。

★『出逢いの海・鞆の浦』
中山　善照／著
啓文社［K211ナ］

★『鞆幕府将軍　足利義昭』
福山市鞆の浦歴史民俗資料館／編
福山市鞆の浦歴史民俗資料館
［K214ト］

★『角川日本地名大辞典』34
「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編
角川書店［H290カ］

★『シマダス』
日本離島センター／編集
日本離島センター［291.0シ］

郷土資料★新着本の紹介

□『日本しま紀行 』7
乾　政秀／著　水声社［K291 イ 7］

□『母子像』新編
四國　五郎／著 四國　光／編　藤原書店［K911 シ］

□『鞆の迷路案内』第1話
宮奥　旦音／著　創風社出版［KF クオ 1］

次回の「郷土資料通信 KASUMI」は
2027 年 3 月発行予定です。
お楽しみに！



福山市図書館
キャラクター
としょ子

『備後福山城』

福山市文化財協会／編
福山市文化財協会［K521 ヒ］

2020 年に始まった「令和の大普請」で外観復元などの大規模改修が行われた福山城に関連する事柄について、５章にわたって書かれています。城下町の建設についてでは、芦田川から導水して町に張り巡らされた水路が、江戸神田上水道にも匹敵する大規模で精巧なものだということが述べられています。また、ほぼ全ページにわたって掲載された写真や絵図、復元 CG を頼りに、楽しみながら福山城関連の知識を得られます。